

遊び心がつまつた女性に人気の旅館

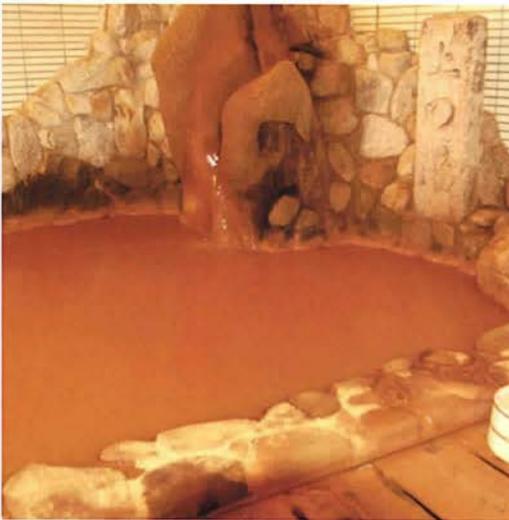
竹取亭円山

有馬温泉駅から最短のお宿
情緒ある岩風呂で金泉の湯を。

有馬御苑



露天風呂がついた客室「竹取亭中納言通り4丁目」



金泉の湯は、情緒あふれる岩風呂



自慢の和牛をどうぞ

神鉄「有馬温泉駅」から、
どのお宿よりも近い有馬御
苑。有馬川沿いの賑やかな
立地にありながら、宿へ一
歩入ると、静寂な空気がく
つろぎを与えてくれる。有
馬特有の金泉の湯は、情緒
ある岩風呂。透明な銀泉は、
ひのき造りの露天風呂、展
望大浴場など、様々な浴場
で楽しむことができる。

もうひとつのお慢は、和
牛。なるほど、しゃぶしゃ
ぶ、ステーキや、宴会料理

のすきやきに至るまで、本
当においしい和牛が食べら
れると評判のお宿。

利用客の7割が女性とい
う竹取亭円山。亭主自身が
メインホストと自称するだ
けあって、女性心をくすぐ
るきめの細やかなサービス
が人気。約40種類の浴衣か
ら好みのものを選べたり、
御所車で部屋まで案内して
くれたり、お座敷でんぶら
などなど。年に二回設けら
れる「男性立入禁止の日」
では様々なイベントが組ま
れ豪華賞品も。竹取亭の別
邸にある「康貴」へも通
遊び心のつまつた旅館。

日替りの会席料理

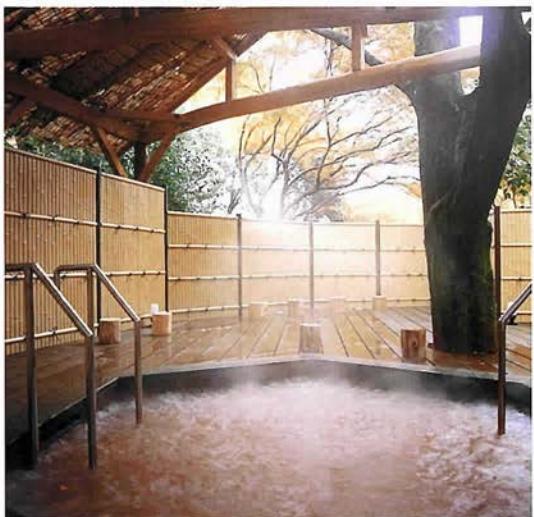


神戸市北区有馬町1-364-1
078-904-10631
<http://www.taketontitel.com/>

神戸市北区有馬町1-296
078-904-3730
(予約専用)
<http://www.anma-gyouen.co.jp/>

■日帰り・宿泊 おすすめの宿
有馬隨一の紅葉の宿

ねぎや 陵楓閣



「ひぐらしの湯」の金泉露天風呂



鮮やかな紅葉に囲まれたねぎや陵楓閣の秋

「ねぎや」のいわれは、古くから神官の宿だったこともあり、禰宜（ねぎ）から「ねぎや」の名をつけた。

楓の古木に囲まれた建物は、有馬一紅葉が美しい旅館と評判。毎日仕入れる新鮮な食材の日替りの懐石料理、木々に囲まれた2つの露天風呂は、ゆったりとした時の流れを演出し又、お風呂を気軽に利用してもらおうと、料金もお手頃。入浴つきの日帰り料金は、季

神戸市北区有馬町
1537-2
078-904-0675
<http://www.negiya.jp>

6万坪という広大な敷地の中に建つ元湯古泉閣。フロントから眺める景色は絶景。

自家源泉からは、1時間に入物のない天然100%のお湯を使用。また敷地内には、精進料理「慶月」やログハウジングアリマリゾートでは特別プランを実施。



松茸をふんだんに使った豪華な精進料理



自家源泉をもち豊富な湯量を誇る。写真は展望風呂「八角堂」

元湯古泉閣

自家源泉から湧出する天然の恵みを満喫

神戸市北区有馬町
1455-1
0120-1300-000
<http://www.kosenkaku.com>

「手づくり照明教室」を全国で展開する照明塾の橋田裕司さんが、有馬温泉を温かい光で包まれた町にしようとプロデュースした「工作バー」がオープンする。和紙や木の皮で作るオリジナル照明は、あたたかみのある光を放つ。観光客だけでなく、有馬に住む人たちにも照明を作つてほしいとのこと。「ご自分で手作りしたものは、愛着がわくでしょう。だから、きっと皆さんもお家に飾つていただけると思うんです」という橋田さんが、奥様と一緒に、照明作りの指導にあたる。ただのカルチャ

ー教室ではおもしろくないので、バーの形式にして、夜は大人が一杯飲みながら楽しく工作できるようにしたのだという。照明は、2~3時間程度で完成。かつての工作少年はもちろん、女性でも簡単に作ることができる。螢光灯の光とはちがう、自然の和紙や木を通した光が人を癒す「ライトテラピー」を提唱している橋田さん。「この照明を、テーブルに置くとお家の様子ががらりと変わります」とのこと。

有馬の新しい「光」作りに、皆さんも挑戦してみては。

ー教室ではおもしろくないので、バーの形式にして、夜は大人が一杯飲みながら楽しく工作できるようにしたのだという。照明

は、2~3時間程度で完成。かつての工作少年はもちろん、女性でも簡単に作ることができる。螢光灯の光とはちがう、自然の和紙や木を通した光が人を癒す「ライトテラピー」を提唱している橋田さん。「この照明を、

1191年創業、多くの偉人たちが逗留した歴史ある建物の中に、新しさを融合させた「ネオジャパネスク」の雰囲気。岩風呂、素材そのものの味を大切にした豪快な料理など、独特の風情があり、多くのファンをもつ。



一杯飲みながらハンダ付け…?

「工作バー」で オリジナル照明を手作り



有馬温泉婦人会の皆さん、照明づくりにチャレンジ



照明デザイナーの橋田裕司さん、奥様の眞佐子さん



陶涼御所坊

悠久の時を感じる名旅館

■陶涼御所坊
神戸市北区有馬町858
<http://www.goshobo.com>
078-904-0551

有馬歳時記

ありま さいじき

**有馬に関する文献・資料を集めて
「有馬文庫」オープン**

歴史の古い有馬に関する資料を集めた「有馬文庫」が有馬地区福祉センターにオープンした。

これまでに集められたのは、昔の地図、写真、江戸時代の版本、写本をはじめ貴重な史料、 بواس



有馬に関する資料を集めた有馬文庫



文庫開設の中心となった有馬連絡所の妻木敏彦所長

ターチ、ガイドブックや、有馬が登場する小説、マンガに至るまで。現在も収集中だ。主催は有馬ふれあいのまちづくり協議会。9月12日のオープニング式典では、記念講演として、神戸国際大学教授・桑田優さんの「江戸時代の有馬」が行なわれた。有馬文庫では、文献収集だけでなく、昔を知るお年寄りにお話を聞く会なども開いている。



大人たちが楽しんだ人形劇だった



人形を操る飯室康一さん

デイープな人形劇に大人も抱腹絶倒

昨年大好評だった人形劇公演が、今夏も開催された。人形作家・飯室康一さんによる、ちょっと大人の入形劇。駅のホームを舞台にした無声劇は、酔っ払いの動きに感嘆の嵐。ひびた温泉旅館を舞台にしたドラマには、観客から笑いが絶えなかつた。

この人形劇は、温泉を泊食付で楽しむだけではなく、お料理を外で食べたり、入浴後に遊びに出かけるなど、夜の楽しみ方が選べる「泊食分離」を提案するためのイベントのひとつとして開催された。こうした楽しみが増えるれば、有馬の夜ももっと樂しくなりそうだ。

■有馬連絡所
☎ 078-904-0081

有馬温泉ガイドマップ





④ 月光園鴻臚館

落葉山の絶景と滝
川のせせらぎ、非日常を堪能くださいませ。

神戸市北区有馬町318
TEL.078-903-2255
<http://www.gekkoen.co.jp>



⑤ 月光園 游月山荘

マクロビオティック
料理と源泉露天風呂で、美容と健康を
堪能くださいませ。

神戸市北区有馬町318
TEL.078-904-0366
<http://www.gekkoen.co.jp>



⑥ 兵衛向陽閣

2006年9月9日、9
階の庭園に新浴場
「三の湯」がオープ
ン致します。

神戸市北区有馬町1904
TEL.078-904-0501
<http://www.hyoe.co.jp>



⑦ 角の坊

今に伝えゆかしき
心。真心込めたもて
なしと料理自慢の
老舗宿

神戸市北区有馬町878
TEL.078-904-0771
<http://kadonobou.com>



有馬のお宿

有馬は日本最古の温泉。
古来より日本人を癒してきた温泉地で
身も心もリフレッシュしませんか。



① 有馬 グランドホテル

9階の展望大浴苑
は眺望が良く、さま
ざまな湯が楽しめ、
特に好評です。

神戸市北区有馬町1304-1
TEL.078-903-5489
<http://www.arima-gh.jp>



② 中の坊瑞苑

静かで料理自慢の
宿。12歳以下のご
宿泊はお断り致して
おります。

神戸市北区有馬町808
TEL.078-904-0781
<http://www.zuien.jp>



③ 陶淵御所坊

鎌倉以来800年古
式温泉館。素朴で
野趣溢れる山家料
理を。

神戸市北区有馬町858
TEL.078-904-0551
<http://www.goshobo.co.jp>





⑫ 奥の坊

有馬温泉各駅より
歩いて5分。十二坊
の一坊を継承する
老舗旅館。

神戸市北区有馬町1206
TEL.078-904-0035
<http://www.okunobo.co.jp>



⑧ 銀水荘別館 兆楽

二泉十二浴。二つ
の金泉、十二の浴
槽。温泉三昧のひ
とときをどうぞ。

神戸市北区有馬町1654-1
TEL.078-904-0666
<http://www.choraku.com>



⑬ 古泉閣

広大な敷地と良質
で湯量豊富な自家
泉源の温泉が自慢
の宿。

神戸市北区有馬町1455-1
TEL.078-904-0731
<http://www.kosenkaku.com>



⑨ 銀水荘別館 兆楽別邸 紫貴

二泉十浴の「兆楽」
に、湯籠りの別邸
「紫貴」が誕生いた
しました。

神戸市北区有馬町1654-1
TEL.078-904-0666
<http://www.choraku.com>



⑭ 竹取亭円山

かぐや姫に愛情を
注ぐ翁のように一人
ひとりのお客様をお
もてなし。

神戸市北区有馬町1364-1
TEL.078-904-0831
<http://www.taketoritei.com>



⑩ ねぎや陵楓閣

豊かな自然の中で
味わいのお料理と
和みの笑顔でくつ
ろぎの一時を。

神戸市北区有馬町1537-2
TEL.078-904-0875
<http://www.negiya.jp>



⑯ 御幸莊花結び

花をテーマとした、
居心地感を追求し、
お料理やおもてなし
に真心を込めて。

神戸市北区有馬町351
TEL.078-904-0166
<http://www.hanamusubi.co.jp>



⑪ 有馬御苑

太閤橋の前!観光
案内所にも近く、浴
衣で温泉街のお散
歩にどうぞ!

神戸市北区有馬町1296
TEL.078-904-3737
<http://www.arima-gyoen.co.jp>



神話の時代から、
数々の歴史舞台になってきた
日本最古の温泉「有馬温泉」



有馬温泉寺縁起絵巻(江戸時代)兵庫県立歴史博物館蔵 薬師如来により導かれる行基

伝説ではなく公式に、なぜ有馬が日本最古の温泉といわれるのかといえば、「日本書紀」にその名が登場するからだ。六三一年、舒名天皇が「摂津国有馬

名湯・有馬温泉は、採掘ではなく自然に湧き出てきた湯であるため、古くから利用されていたことは間違いない。有馬温泉の発見に関しては、神話の時代のこんな伝説が語り継がれている。「大己貴命（おおなむちのみこと）、少彦名命（すくなひこののみこと）の二神が有馬を訪れた際、三羽のカラスが水たまりで水浴びをして傷を癒しているのを見て、これは温泉であると知った」。



有馬温泉寺縁起絵巻(江戸時代)兵庫県立歴史博物館蔵

温湯に幸す」と記されている。この有馬御幸の記録は、天皇が

名に「坊」とつく旅館は、今も馬に残っている。

温泉を訪れた最初の記録だとい

う。その後、孝徳天皇が三ヵ月にわたって滞在し、ご入湯されたと書かれている。孝徳天皇のお子は、のちに中大兄皇子に謀

反の疑いをかけられ、処刑された悲劇の皇子である「有間皇子」であるが、孝徳天皇は子宝の湯として知られた有馬の湯に入り、効験あってお子を授かったともいわれ、皇子の名は有馬と何か関係がありそうだ。

その次の歴史舞台は奈良時代。高僧・行基が伊丹から有馬に来る途中、行き倒れの病人を助けたところ、薬師如来の姿となり、有馬に導かれた。行基は、当時に万病の薬とされた温泉の湧き口に、薬をつかさどる薬師如来像を祀り、お堂を建てたのが温泉寺の縁起だと言い伝えられている。次は平安の時代、有馬が大洪水に見舞われ、大被害を受けた後。大和・高原寺の僧であつた仁西が、熊野権現のお告げによつて有馬を訪れ、有馬を再興。薬師如来を守護する十二神将にちなんで、十二の宿坊を作つた。

そのまま幻となつた秀吉の「湯山御殿」の遺構が、阪神・淡路大震災の被害を受けた極楽寺の床下から出土した。現在、その場所で「太閤の湯殿館」として、遺構や出土品が公開されている。

かつて、病気を治す湯治場として知られていた有馬温泉。時代は変わり、温泉旅行の目的は観光・レジャーとなり、現在は再び、健康に生きるために癒しの場として注目を集めている。訪れる目的は変わつても、有馬温泉は人々の憧れであり、また



秀吉が造らせた湯殿の遺構が阪神淡路大震災により発見され、「太閤の湯殿館」として公開されている。写真は岩風呂。



歴史の古さは、日本第一神靈泉の碑で示されている(金の湯の右手に建つ)



有馬温泉にある「ねがいの庭」には、右手に三羽のカラス、左手に行基の像がある



神戸 住ま イズム

KOBE
Suma-ism

海と山、そして都市。
バランスの良い住環境は
全国、いや、世界に
神戸が誇れるもののひとつ。
そこに、生活を楽しみ
芸術を愛する神戸人たちの
心地よいこだわりが重なる。
神戸住まイズム…。
この街の住文化には
個性、自由、そして
伸びやかな「主義」がある。



Contents

- 27P...続 建築家・瀬戸本淳氏と神戸の住まいを訪ねる。
- 34P...住まいのFAQ
- 36P...神戸エリア注目の住まい
- 42P...芦屋山手を訪ねて
- 44P...山芦屋の濱邸プロジェクト
- 45P...DIYをはじめよう
- 46P...マンションは外断熱の時代へ



(株)アンヌーヴォ 生活美学俱楽部
榎本靖子邸 30P



画家
中西勝邸 28P

家の個性は、住む人の個性そのもの。

日々の生活や、思想、趣向、人生が

住まいに自ずと刻み込まれ

空間はひとつの世界となる。

神戸の景観を彩る数々の名建築を

その手で生み出してきた建築家

瀬戸本淳氏が神戸の文化人宅を訪ね

住まいのイズムに迫る。



書家
高砂京子邸 32P

瀬戸本淳 プロフィール

JIA登録建築家。APECアーキテクト。一级建築士。株式会社瀬戸本淳建築研究室代表取締役。

1947年神戸市生まれ。神戸大学卒。鹿島建設、安井建築設計事務所を経て、1977年瀬戸本淳建築研究室設立。世良美術館、月光園鴻臚館、兵庫県司法書士会館などを手がける。神戸市建築文化賞、兵庫県さわやか街づくり賞、神戸市景観ポイント賞など、受賞歴多数。神戸を代表する建築家として活躍するかたわら、若い芸術家の支援など文化活動にも積極的に携わっている。

画家 中西勝邸



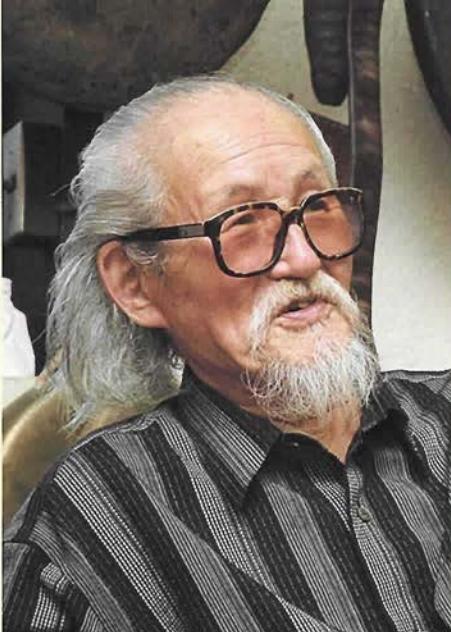
楽器が好きな中西さん。
銅鑼を叩くと、お腹にまで
ずっしりと響き渡った。

「立体的に生きることが
大切」と語る画家の中西さん。
そのお宅は立体どころか、
時間軸まで超越しているようだ。



ポルトガルの彫刻、メキシコのどくろ、
六甲の護国神社の骨董市で
見つけた皿、スーパーボール…。
リビングルームにはさまざまなものが
同列に鎮座している。

「凄いなあ、凄いなあ」と、
門に入って圧倒された
様子の瀬戸本氏。
「蔓草がいつの間にか
こんなに伸びてしまって…」と
中西さんのご夫人。
玄関ドアのノブは古い
アイロンを利用しており、
洒落ている。



「歴史めぐり、世界めぐり、
いや、宇宙めぐりができる空間
です。時空を飛び越えた宇宙が、
ここにはあります」。ため息ま
じりに瀬戸本氏はそう語った。

古今東西のものが満ちあふれ
雜然としているリビングに、5
年の歳月をかけ世界25か国を
旅した中西先生の世界観が垣間
見える。原始美術や民芸品に深

い関心を寄せる中西さんは言う。
「先祖のものを大切にすること言
うこととは、先祖、父母、先輩を
敬うことだ」と。「中西さん自
身が面白いと思うものが置いて
ある。面白いと感じることがエ
ネルギーなのです」と瀬戸本氏。

ジャングルのように草木が生
い茂つた庭は、中西さんの「仕
事」が随所に。石を積みあげた
小径、手づくりの棚など、温も
りのある「作品」にはそれぞれ
完成の日付が記されている。実
をつけた大きなカリンの木が、
この家の45年の歴史を物語る。
「日常を超えたところに、中
西先生の日常があるのでしよう。
しかし、45年の年月かあ…」。
45年間醸成された空間が、建
築家を感嘆させた。



中西さんの自慢のひとつがこの表彰状。0歳の時の「健康優良児」の表彰だ。82歳になった今も、リビングに大切に飾ってある。



「これはすごい…」と瀬戸本氏も絶句のトイレ。エキゾチックでゴージャスなタイルは、中西さんがポルトガルから仕入れたもの。



アトリエは離れに。窓、そして天窓から光がやさしく差し込む。静かな場所だ。



アトリエの外には、何やら怪しげなスペースが。棚の上に「タメシニイカ」と「カニニシメタ」とある。上から読んでも、下から読んでも…。ここは中西さんが考えた「回文」のギャラリーのようだ。



アトリエともう一棟の離れた間の「路地」の向こうには、小さな「畑」が。その一角のベンチには「神の座」とベンキで。眼下に爽快な眺めに「まるで神になったような気分」と瀬戸本氏。



白亜の壁に、三角形のタイルのグリーンがアクセント。堀には車輪があしらわれ、異国情緒漂う雰囲気を醸している。

(株)アンヌーヴォ 生活美学俱楽部

取り壊す寸前の淡路島の民家を買い取り、「匠家おかげ庵」として活用している行動派の榎本さん。35年住み慣れた神戸のお宅はテラスと一体化したりビング、らせん階段のホール、バルコニーに直結したバスルームなど彼女のキャラクターと同じ、大胆不敵。

「家のことは思い切りやる方

が面白い。萎縮しないことが大切なのです。生活の中では、小さなアイデアで空間は広がります。榎本さんは自分のまわりの空間をどんどん変えていく。まさに“建築家”的仕事です”と瀬戸本氏。生成のカーテンが心地良さげに風にそよぎ、テラスから木洩れ日が注ぐリビングは居心地が良く、おのずと会話

も弾む。「おかげ庵の敷地に、世界一小さなコンサートホールをつくって、そのドアを世界一美しい扉にしたいの！」と榎本さん。世界一。しかもそれを実現してしまうパワーを秘めているからすごい。「みんなが楽しめるからすごい」。みんなが楽しめること。それが人生最大の楽しみ」という榎本さん。いろいろな人と喜びを共有したいという気持ちが、空間に満ちあふれていた。



榎本さんがスペインで見つけた
というカメオが施された貝を
照明にするアイデア。
調度品はヨーロッパ各国のものが多く、
南欧のイメージが漂う。

空間を愉しむのが榎本流。
家のすみずみまで、
やしさと何気ない
心地よさが。

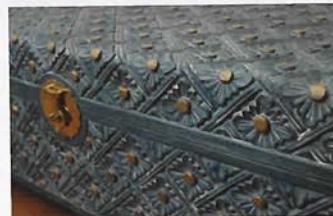


バスルームは2階で、
バルコニーに直結し、
浴室から遠く海を望むことも。
夜景を眺め、夜風で涼む…。
「どこかに楽しいポイントがあると、
生活が豊かになります」
と瀬戸本氏。

らせん階段は、「もともと庭の部分を改造しました」と榎本さん。
「私、5年に1度はどうしても
家に手を入れたくなります(笑)」。



玄関やリビング奥の部屋には、三浦啓子さんのステンドグラスが。外窓とステンドグラスの間に照明を施し、夜はまた違うムードを奏でる。



何気なく置いてあるトランクは、スハルト元大統領に選ばれた木工作家、バスキー氏の作品。ジャワ原住民伝統の模様がチーク材に刻まれて、息を呑むような繊細さだ。



「どこの国の家の玄関なのでしょうね(笑)」と瀬戸本氏。ミントグリーンと白の配色は独特のリゾート感を演出し、「ハワイのモアナホテルを思わせます」。



リビングの中央から、海側(写真上)と山側(写真下)を。季節を彩るテラスから玄関のホールまで空間が連結し、光が流れるように抜ける。「鏡やガラスを上手に使って、広がりを見せる工夫がある。このストリームが面白いですね」と瀬戸本氏。



Yasuko Enomoto Residence



玄関とリビングを結ぶ階段のホールには、六甲から北光線がやわらかく注ぐ。「しかし大胆な床ですねえ」と笑顔の瀬戸本氏。どこかわくわくする空間だ。

高砂京子邸

書家



玄関から事務室へつながる廊下は、「作品の搬出に便利なように」と幅が広め。その空間は、ギャラリースペースとしても活用されてるばかりか、書を描くアトリエがわりにも。一石三鳥だ。

「決められた枠をはずすことが書家には必要」と語る高砂さんのお宅は、その通り自由な発想が随所に伺える。



広い和室。そして「作品とのバランスを考え、広く見せるように」という床の間は、シンプルながら趣深く演出されている。

山と田を借景とする玄関ホールの窓は、「一幅の絵画」だった。しかし前に家が建った今は、小粋なオブジェを設け新しい風情を。玄関は吹き抜け、廊下、そしてこの窓と上下前後左右に抜ける空間。



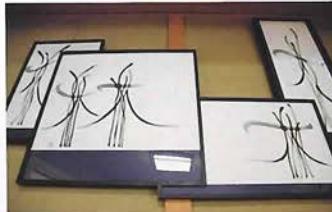
独創的な作風で、書の可能性を切り拓く高砂さん。「大事なことは、『こうでなければいけない』という固定概念を取り外すこと。そこから自分らしさが湧き出てくるのです」という言葉通り、家からも彼女らしさが伝わってくる。

玄関ドアを開けると、パッと視界が広がる。「家に人が来る

ことが大切。すぐに帰ってしまふ人にも、空間を楽しんでいただければ……」という高砂さん。「それはすごいコンセプトです。人の出会いを大切にすること。それは、書家のお仕事でも大切なことなのでしょう。ありそうでない玄関です。玄関以外も一つひとつの空間にコンセプトがあり、メリハリがある。息苦し

さがなく、どこか通りがよい。高砂さんのスパッとした性格が出ていますね」と瀬戸本氏。ピンクの洋風な外観の印象とは違い、書家の家らしく「世界が求める和の意匠」がある。そして光を積極的、効果的に使っている印象が。瀬戸本氏は「いろいろ試されてるようなので、四・五年後が楽しみです」と熟成されゆく空間に思いを馳せた。

高砂さんのスパッとした性格が出ていますね」と瀬戸本氏。



ユニークな書の作品は、もちろん高砂さんの筆。まずは額から創ったというこの書は、「木」の字をモチーフに寄り添うようなイメージが。「木の精霊」というか、妖精というか、そんな空気を感じますね」と瀬戸本氏。



床の間に何気なく生けられた鶴頭も「高砂流」。プラチナなどを使用した近藤高弘氏作の「銀滴彩」の角笛に、「完璧に宇宙がある。天の川にも見える」と瀬戸本氏。近藤孝弘氏は人間国宝の陶芸家、染付で知られる近藤悠三氏の孫にあたる。



和室は縁側に囲まれ、その先には梅や山茶花が歳時記のごとく彩る坪庭。坪庭のつくばいには何気なくトルコキキョウが生けられている。雪見障子が情趣を醸す。

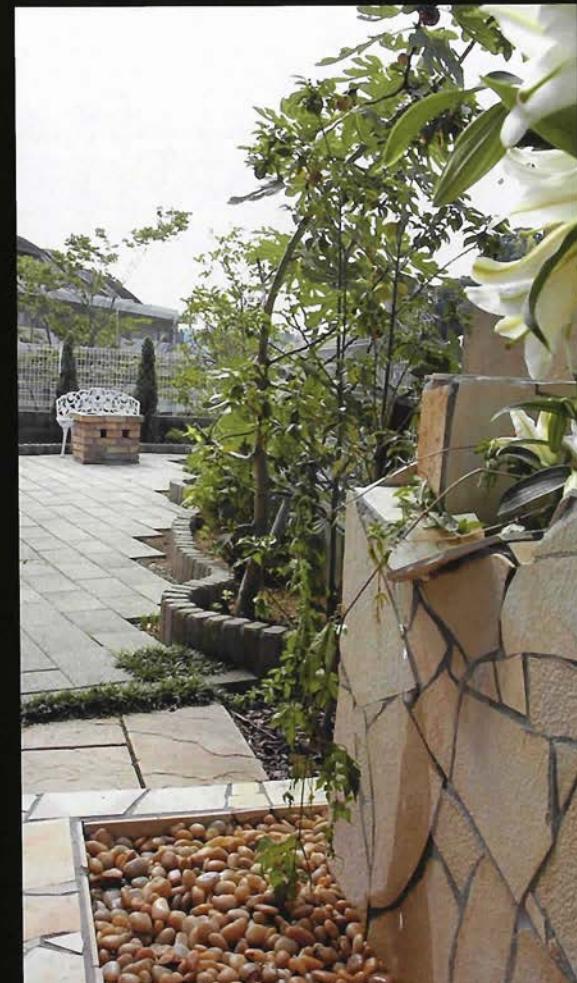


2階の洋室には大きな窓が大胆に。窓からは降り注ぐ星空が満喫できるとか。



家の正面には、大きく育った植木が天を掴まんばかり。「日本中探してもこんな木はないですよ! 窓も、空間も、そして木も、この家は何もかもが大きいですね(笑)」と瀬戸本氏。

Kyoko Takasago Residence



家の裏の庭は、公園のようなスペース。バーベキューも楽しめる。『三角形の敷地に建物を建て、残った空間を上手に活用していますね』と瀬戸本氏。いちじくの木が実を結んでいた。

「何が
違つて
本當?」

「それつて
本當?」
「聞いたことあるけれど、
何?」

住宅についての素朴な疑問にお答えし、
あなたの「もやもや」を解消します!

A Q 最寄り駅から徒歩 5 分。
さて何メートル?

不動産の表示に関する公正

競争規約には「徒歩による所要時間は、道路距離 80 メートルにつき 1 分間を要するものと

して算出した数値を表示すること。この場合において、1 分間未満の端数が生じたときは 1 分間として計算すること」とあります。物件と駅までの道路の最短距離が基準です。

つまり徒歩 5 分は、5 (分) × 80 (メートル) の 400 メートルとなります。端数も含むので 320 メートルをこえて 400 メートル以下の範囲となります。

毎分 80 メートルというスピードは、時速にすると 4.8 キロ。人が軽快に歩くくらいのスピードです。信号待ちや坂道を考

慮してありませんので、物件検討の際に実際歩いてみるとをおすすめします。

A Q 2×4 (ツーバイフォー)
工法って何?

2×4 工法とは、北米で誕生・発展した「枠組壁工法」のこと。躯体を構成する時に、断面 2 インチ × 4 インチの部材を多く使用することから、2 × 4 とよばれています。

その特徴をひとことで表せば、「線」ではなく「面」で支える構造。規格化された構造用製材と補強金物で組まれた枠組みに構造用合板などを張ったパネルを組み合わせ、箱をつくるように家を組み立てます。

「面」で支える 2×4 の家は、力が面で分散されるので、外力を対し建物全体で負担すること

により抑制・吸収する特性を持っています。搖れに対しても垂直面で変形・倒壊を防ぎ、水平面でねじれを防止します。阪神淡路大震災でもその威力を發揮しました。また、機密性も高い構造で、断熱性や遮音性にすぐれています。北米では戸建て木造住宅の約 9 割が 2×4 と高く評価されています。

ちなみに日本最古の 2×4 住宅は、東灘区の富永家住宅。大正末期の建物で、現在も住居として使用されています。

A Q 「建築家」と「建築士」の違いは?

「建築士」は国家資格で、国家試験に合格した建物の設計、工事監理等を行う技術者です。

一方「建築家」については、日本国内では、法令などでまだきっちり定義されていません。建築設計監理をおこなう者で、作家性や作品性の高い人が「建築家」と言われているのが現状です。さらに、建築家はクライアントと直接契約して実務にあたっているということも重要な



近代を代表する建築家、
フランク・ロイド・ライトが設計した
ヨドコウ迎賓館(旧山邑邸)

ポイントです。

海外では法令等で規定され、
アメリカではいくつかの試験に
合格し登録料を払います。イギ
リスでは特定の教育研修機関で
のディプロマ（免状）取得と一
定期間の実務経験がないと建築
家にはなれません。

日本建築家協会（JIA）に
加入するには、建築監理の実務
経験が重視されます。建築監理
の実務をおこなうには建築士の
資格は不可欠なので、必然的に
建築士でないと加入できないの
です。世界水準に照準を合わせ、
JIAは建築家の国家資格制
度の実現を目指しています。

また、2005年、新たに
APEC（アジア太平洋経済協
力会議）の枠組み内では「APEC
アーキテクト」が創設され、建
築課程の修了や一级建築士資格、
豊富な実務経験などの条件を満

たし審査を通過した者が登録さ
れるようになりました。今後、

国内やアジア太平洋地域はもと
より、世界的な「建築家」の基

準として注目されるでしょう。
「建築家」とは、設計監理業
務はもちろん、空間を自らの感

性や論理でプロデュースできる
「建築士」と考えるのが適当で
しょう。

「建築士」と考えるのが適當で
「建築士」と考えるのが適當で
しょう。

A Q 日本最古の民家が 神戸にあるって本当?

神戸市北区にある箱木家住宅

宅は、14世紀に建てられたと
推定され、現存する民家の中で
は日本最古のものと言われてい
ます。近世から「千年家」と呼
ばれるくらい古く、江戸時代の
書「摂津名所図絵」にも大同元
年（806）に建てられたとい
う記述が認められます。

しかし、「千年」というのは
少し大きさなようです。建物は
呑吐ダム建設により水没するた
め、約70メートル東南に移築
され保存されています。その際



箱木家住宅（箱木千年家）

神戸市北区山田町衝原字道南1-4

☎078-581-1740

アクセス 神戸電鉄箕谷駅より市バス111系統
終点「衝原」下車、すぐ。

入館料 大人300円・小中学生150円

開館時間 9時～18時（冬季は～17時）

年末年始は休館

の解体調査と敷地跡の発掘調査
により、室町時代頃に建てられ
た「母屋（おもや）」と江戸時
代中期に建てられた「離れ」と
を一つの屋根に収めた構成であ
ったことがわかり、現在は「母
屋」と「離れ」を分離し建築當
初の形を再現しています。

箱木家は古くからこの地方の
土豪として栄え、代々庄屋をつ
とめてきた家柄です。昭和42
年に国指定重要文化財となり、
住宅の歴史を知る上でも、郷土
の生活を伝える上でも、貴重な
ものとなっています。

梁や柱などの部材には、今で
も建築当初のものが使用されて
います。悠久の時の流れに育ま
れた風格のある民家です。